

(株) ダイゾーの事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 昭和11年に「株式会社大阪造船所」として創業。貨物船を400隻ほど建造。
- 昭和48年に長崎県に新たに「株式会社大島造船所」を設立し、大型の船舶の建造事業を同社に移管。移管後は、他事業を吸収しつつ、社名を「株式会社ダイゾー」に変更。平成22年からはタグボートの建造に特化し船舶建造を再開。
- 令和6年5月までに40隻のタグボートを引き渡し、今後のカーボンニュートラルに対応すべく、次世代燃料タグボートの開発・建造の準備を進めている。

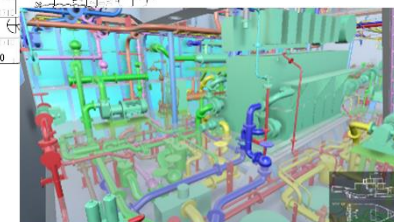
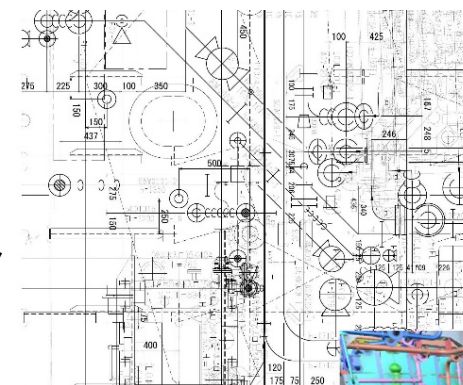


計画の概要

- 今後のカーボンニュートラルの流れに対応すべく、次世代燃料タグボートの開発・建造を行う。
- 具体的には、これまで重油とエンジンにより推進力を得ていたところ、バッテリーやモーターに置き換えることで、燃費性能の高いタグボートを建造する。
- この新造船では配管や電線の系統が大きく入れ替わるため、3D-CAD等を新たに活用することで効率的な設計や建造に取り組む。

<計画実施期間> 2024年7月～2028年7月

<実施場所> (株)ダイゾー 本社工場(大阪府大阪市)



3D-CAD図への変更(既存タグボート)